

(様式4) 継続事業中間評価調査書 (令和2年度実施事業)

評価確定日(令和3年8月4日)

事業コード		政策コード	政策名	犯罪の起きにくい社会づくりの推進																																																																								
事業名	「なまはげ」少年サポート事業	施策コード	施策名	少年非行防止・保護総合対策の推進																																																																								
		目標コード	施策目標名	少年の非行防止・健全育成活動の推進																																																																								
部名	警察本部	課名	人身安全対策課	係名	児童虐待対策兼少年サポート係	(tel)	3112	担当課長名	畠山 洋	担当者名	藤島 洋子																																																																	
評価対象事業の内容																																																																												
<p>1-1. 事業実施の背景 (施策目的達成のための必要性)</p> <p>県内における少年を巡る情勢は、非行少年数は減少しているものの、悪質な非行事案が断続的に発生しているほか、インターネット上のSNS等を利用した少年の福祉を害する犯罪や不審者からの声掛け事案が後を絶たない上、児童虐待事案が増加傾向にあるなど、依然として予断を許さない状況にある。こうした情勢を踏まえ、児童等の安全確保対策や地域安全情報のきめ細やかな収集と提供、問題を抱えた児童・生徒に対する学校と警察が連携した対応など、児童・生徒を非行や犯罪被害から守る取組を強化する必要がある。</p>																																																																												
<p>1-2. 外部環境の変化及び事業推進上の問題点</p> <p>全国的に、社会の耳目を集める少年による凶悪な事件や子供が被害者となる重大事件が後を絶たない状況にある。当県においても同様事件の発生が懸念されることから、学校、地域と連携した少年非行防止、通学指導の安全対策が課題である。</p>																																																																												
<p>2. 住民ニーズの状況 (事業継続中に把握したもの)</p> <p>①ニーズを把握した対象 <input type="checkbox"/> 受益者 <input checked="" type="checkbox"/> 一般県民 (時期: 年 月)</p> <p>②ニーズの把握の方法 <input type="checkbox"/> アンケート調査 <input type="checkbox"/> 各種委員会及び審議会 <input type="checkbox"/> ヒアリング <input type="checkbox"/> インターネット <input checked="" type="checkbox"/> その他の手法 (具体的に)</p> <p>③ニーズの具体的内容 県内高校において、生徒の財布内から現金が盗まれる被害が断続的に発生し、高校側からスクールサポーターによる校内巡回の依頼があった。教職員と情報共有しながら、約3か月にわたり、効果的な時間帯に随時、校内を巡回したところ、高校内の盗難被害がなくなった。学校からは、生徒の安全を確保することができたと謝辞があった。</p>																																																																												
<p>3. 事業目的 (どういう状態にしたいのか)</p> <p>スクールサポーターがパイプ役となり学校・地域・警察が一体化した取組を行うことによって、児童・生徒の非行や犯罪の被害が未然に防止され、少年を健全に育む地域社会が実現する。</p>																																																																												
<p>4. 重点施策推進方針との関係 <input checked="" type="checkbox"/> 重点推進事項 <input type="checkbox"/> その他の事業</p>																																																																												
<p>5. 目的達成のための方法</p> <p>①事業の実施主体 警察本部、9警察署 ②事業の対象者・団体 県内の学校等 (幼稚園・保育園を含む)、保護者、地域住民 ③達成のための手段 スクールサポーターが、学校や地域と連携した少年の非行防止及び立ち直り支援、学校等における児童等の安全確保対策、非行・犯罪被害防止教育の支援、地域安全情報の把握と提供等の活動を通じて、少年の非行・犯罪被害防止対策を推進する。</p>																																																																												
<p>6. 前回評価結果等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施又は継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 再検討又は縮小・休廃止</p> <p>特になし。</p> <p>①指摘事項 事業の継続に必要な予算の獲得に努めた。</p> <p>②指摘事項への対応</p>																																																																												
<p>7. 事業の全体計画及び財源</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業内訳コード</th> <th>事業項目</th> <th>左の説明</th> <th>H28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>R2年度</th> <th>3年度</th> <th>全体(最終)計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>スクールサポーターの活動に要する経費</td> <td>退職した警察官等をスクールサポーターとして警察署に配置し、学校からの要請に応じて派遣するなどして、学校における少年の問題行動等への対応、巡回活動、相談活動、児童の安全確保に関する助言等を行っている。</td> <td>14,023</td> <td>14,086</td> <td>14,017</td> <td>14,018</td> <td>16,173</td> <td>16,961</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">予算額(千円)</td> <td>14,023</td> <td>14,086</td> <td>14,017</td> <td>14,018</td> <td>16,173</td> <td>16,961</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源内訳</td> <td>国庫補助金</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>県債</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>60</td> <td>48</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>42</td> <td>43</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> <td>13,963</td> <td>14,038</td> <td>13,981</td> <td>13,982</td> <td>16,131</td> <td>16,918</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										事業内訳コード	事業項目	左の説明	H28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	3年度	全体(最終)計画		スクールサポーターの活動に要する経費	退職した警察官等をスクールサポーターとして警察署に配置し、学校からの要請に応じて派遣するなどして、学校における少年の問題行動等への対応、巡回活動、相談活動、児童の安全確保に関する助言等を行っている。	14,023	14,086	14,017	14,018	16,173	16,961		予算額(千円)			14,023	14,086	14,017	14,018	16,173	16,961		財源内訳	国庫補助金									県債									その他		60	48	36	36	42	43		一般財源		13,963	14,038	13,981	13,982	16,131	16,918	
事業内訳コード	事業項目	左の説明	H28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	3年度	全体(最終)計画																																																																			
	スクールサポーターの活動に要する経費	退職した警察官等をスクールサポーターとして警察署に配置し、学校からの要請に応じて派遣するなどして、学校における少年の問題行動等への対応、巡回活動、相談活動、児童の安全確保に関する助言等を行っている。	14,023	14,086	14,017	14,018	16,173	16,961																																																																				
予算額(千円)			14,023	14,086	14,017	14,018	16,173	16,961																																																																				
財源内訳	国庫補助金																																																																											
	県債																																																																											
	その他		60	48	36	36	42	43																																																																				
	一般財源		13,963	14,038	13,981	13,982	16,131	16,918																																																																				

8. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み								
指標名 学校等における児童等の安全確保対策件数(年度)								
指標の種類 <input type="checkbox"/> 成果指標 <input checked="" type="checkbox"/> 業績指標								
指標式 学校等における児童等の安全確保対策回数を指標とする								
①年度別の目標値(見込まれる効果)								
指標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	3年度	最終年度
目標a	8800	10000	10000	11000	12000	10000	10000	
実績b	9901	10654	10654	11739	10877	12837		
b/a	112.5%	106.5%	106.5%	106.7%	90.6%	128.4%	0.0%	
東北								
全国								
②データ等の出典 非行・犯罪被害防止教室回数(年度)								
③把握する時期 <input type="checkbox"/> 当該年度中 月 <input checked="" type="checkbox"/> 翌年度 4 月 <input type="checkbox"/> 翌々年度 月								
指標名 地域安全情報等の把握及び提供件数(年度)								
指標の種類 <input type="checkbox"/> 成果指標 <input checked="" type="checkbox"/> 業績指標								
指標式 地域安全情報等の把握及び提供件数を指標とする								
①年度別の目標値(見込まれる効果)								
指標	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	3年度	最終年度
目標a	4500	5000	5500	5500	5500	5000	5000	
実績b	4980	5376	5999	4599	4651	2759		
b/a	110.7%	107.5%	109.1%	83.6%	84.6%	55.2%	0.0%	
東北								
全国								
②データ等の出典 地域安全情報等の把握及び提供件数(年度)								
③把握する時期 <input type="checkbox"/> 当該年度中 月 <input checked="" type="checkbox"/> 翌年度 4 月 <input type="checkbox"/> 翌々年度 月								
指標を設定することができない場合の効果の把握方法								
①指標を設定することが出来ない理由								
②具体的な把握方法								
③把握した効果								
④データ等の出典								
⑤把握する時期 <input type="checkbox"/> 当該年度中 月 <input type="checkbox"/> 翌年度 月 <input type="checkbox"/> 翌々年度 月								

所管所属長による評価		評価結果
現状の課題に照らした妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c	<input checked="" type="checkbox"/> A
児童・生徒を非行や犯罪の被害から守る対策を効果的に推進するためには、学校・地域と警察が一体となった取組が必要であるが、関係機関等においては必ずしも十分な体制が確保されているとはいえない現状にあることから、パイプ役として専門性の高いスクールサポーターの活動が求められている。		
住民ニーズに照らした妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c	<input type="checkbox"/> B
少年に関わる事件や犯罪被害については社会的反響が大きく、県民も身近な問題として捉えており、その不安感を解消するためにも、スクールサポーターの活動が必要とされている。併せて個々の事案に即応した予防警戒活動も求められている。		<input type="checkbox"/> C
法令・条例上の要請等		
理由		
事業目的の達成状況	評価の対象 <input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 対象外	<input type="checkbox"/> A
<input type="checkbox"/> a <input checked="" type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c		
【理由】		<input checked="" type="checkbox"/> B
スクールサポーターは、会計年度任用職員としての限られた勤務時間の中で、警察職員OBとしての専門性を生かし、年間1万2,837回の児童等の安全確保対策、2,759件の地域安全情報等の把握・提供を実施しており、非行防止、犯罪被害防止について有効性が認められる。		<input type="checkbox"/> C
事業の経済性の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> a <input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> c	<input checked="" type="checkbox"/> A
【理由】		<input type="checkbox"/> B
スクールサポーターの活動の範囲は学校から管内一円に及び、地域の安全・安心に寄与しており、費用対効果が高いと認められる。		<input type="checkbox"/> C
事業の妥当性	<input type="checkbox"/> A(妥当性が高い) <input checked="" type="checkbox"/> B(概ね妥当である) <input type="checkbox"/> C(妥当性が低い)	
対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持で継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 休廃止	
スクールサポーターの知識、経験を生かした訪問・巡回活動は、学校や地域における少年非行防止、子供の安全確保を図るために有効であるほか、学校と地域、関係機関とのパイプ役として必要で効率的な事業であることから、事業の充実も視野に入れながら継続して推進する必要がある。		
評価結果の当該事業への反映状況(対応方針)		
政策評価委員会意見(諮問する事業についてのみ記載)		